

2025年度都道府県主要農作物（米・麦・大豆等）種子生産に関するアンケート

16. 都道府県間連携について				
		重要性について	現在の取り組みについて	今後必要とされること
1	北海道	重要と思う		
2	青森県	重要と思う	一部委託・受託生産を実施している	気温上昇などによる栽培適地の変化、品質低下等の栽培面での情報共有
3	岩手県		特になし	
4	宮城県	重要と思う		
5	秋田県	重要と思う		当県で生産していない品種種子の県外委託生産
6	山形県	重要と思う	本県開発の品種を奨励品種決定調査等に供試	
7	福島県	重要と思う	一部奨励品種の採種を他県に委託している。	無し
8	茨城県	重要と思う	なし	県間で種子生産品種を整理・分担すること。
9	栃木県	重要と思う	品種比較試験データの共有 種子協会を通じた種子の融通	複数県での種子生産品種の分担
10	群馬県	重要と思う	一部の奨励品種は他県から種子を購入している。本県が他県へ販売する事例もある。	
11	埼玉県	重要と思う		
12	千葉県	重要と思う		
13	東京都	意見なし	該当なし	意見なし
14	神奈川県	重要と思う		
15	新潟県	重要と思う	—	—
16	富山県			
17	石川県	重要と思う		
18	福井県	重要と思う	需要に応じて他県分の種子生産を担っている。また、他県に種子生産の委託・購入している。	種子の安定供給のための連携（需給状況の把握、栽培状況の情報共有など）
19	山梨県	重要と思う	本県で需要に対して生産量が不足する品種の種子については、県内の団体が、他県で生産された種子を受け入れている。	上記取り組みの安定的な継続
20	長野県	重要と思う		
21	岐阜県	重要と思う	種子の相互供給	
22	静岡県	重要と思う	他県産種子を確保することで、種子の安定供給を図っている。	都道府県間連携による種子の安定供給。
23	愛知県	重要と思う	県内だけでは生産できない種子については、他県と連携し、種子を確保している。	引き続き、他県と連携しながら種子の安定確保を図っていく必要がある。
24	三重県	重要と思う	現在のところ、具体的に検討している案件はないが、必要に応じて検討していきたい。	
25	滋賀県	その他		今後主食用米の生産が減少する中、広域に種子生産を行う体制づくりが必要になると考える

2025年度都道府県主要農作物（米・麦・大豆等）種子生産に関するアンケート

16. 都道府県間連携について				
		重要性について	現在の取り組みについて	今後必要とされること
26	京都府	その他	特になし	特になし
27	大阪府	その他	なし	不測の事態に備え、より安定した需給体制を整備するため、各都道府県種子協会間の連携を強化すべき。
28	兵庫県	重要と思う	各県の需給状況によっては、生産した種子の売買が必要であるため、需給把握や種子生産計画作成の段階での調整	各県の需給状況によっては、生産した種子の売買が必要であるため、需給把握や種子生産計画作成の段階での調整
29	奈良県	重要と思う	不足種子分は県外委託により種子を確保	
30	和歌山県	重要と思う	水稻種子の採種を県外に委託	
31	鳥取県	重要と思う	自県生産の種子が不足する場合に県外産を移入して利用。 自県生産を行わない品種の種子を県外から移入して利用。 他県の種子が不足する場合に自県生産種子を提供。	各県の需給バランスを調整できる仕組みがあると良い
32	島根県	重要と思う	必要に応じて連携	不測の事態が生じた場合の種子供給体制
33	岡山県	重要と思う	一部、他県産の種子を購入している。	予定していた県内の採種量が不足する場合も予想されるため、必要に応じて他県産の種子を導入できる体制の整備が必要
34	広島県	重要と思う	なし	
35	山口県		一部品種について、本県で原種生産を実施し、一般採種を他県に委託している。	県内における採種計画に対して未達であった場合、他県から調達する必要があるため、円滑に調整できるような体制整備が必要
36	徳島県	重要と思う	県内採種のみでは対応が難しい品種の種子を県外委託により確保	
37	香川県	その他（現状、実施の予定はない）		
38	愛媛県	重要と思う	一部奨励品種の種子生産を他県へ委託している。	
39	高知県	重要と思う	特になし	
40	福岡県	重要と思う	県外で生産が盛んな品種は県外に生産を委託（コシヒカリ） 共通品種について、他県と連携	
41	佐賀県	その他 主要農作物においては、現時点では必要ないが、飼料用米など種子の生産が国内の限られた産地でしか生産されていない品種については都道府県間での連携も今後重要となると考えられる。	検討中	検討中
42	長崎県	重要と思う		

2025年度都道府県主要農作物（米・麦・大豆等）種子生産に関するアンケート

		16. 都道府県間連携について		
		重要性について	現在の取り組みについて	今後必要とされること
43	熊本県	その他	県内採種が無い品種について、採種団体が需要に応じて他県から購入し種子を供給。また、不作等で供給不足が生じた場合にも近県から臨時に購入し、安定供給を維持している。	
44	大分県	重要と思う	県内で計画数量を確保できなかった種子や作付面積が小さい種子は、県外から購入。他県からの受託分や余剰分は、県外へ販売。	特になし
45	宮崎県	重要と思う	県内採種がない品種は他県から購入。 種子確保量に不足が生じた場合には他県と融通。	持続可能な種子生産体制の維持において都道府県の枠を超えた広域連携体制の検討。
46	鹿児島県	重要と思う	特になし	複数の都道府県で同じ品種を作付けしている場合、相互の都道府県で種子の集約・提供
47	沖縄県	重要と思う	現在、他県との連携取り組みは行っていない。	